

静岡社会健康医学大学院大学 2023（令和5）年度研究生募集要項

1 研究生とは

研究生は、指導教員の下で特定の分野・事項について研究に従事します。学位の取得、単位の修得はできません。

2 募集する指導教員

別紙「2023年度研究指導分野一覧（研究生対象）」のとおり

3 受入予定人数

各教員 若干名

4 受入期間

2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日）（原則1年間）

5 検定料及び納入金

区 分	金 額	備 考
入学検定料	9,800 円	一律
入学料	84,600 円	一律
研究料 ※	356,400 円（年額）	29,700 円（月額）×月数

※ 実験等の費用が別途発生する場合があります。

6 出願資格

出願できる方は、次のいずれかに該当する方、又は2023年3月末までに該当する見込みの方とします。

- （1）修士以上の学位を有する者
- （2）修士以上の学位を有する者と同等以上の学力があると本学が認めた者

7 出願手続

7.1 出願前相談（必須）

研究を希望する内容について、出願前に本学の教員に相談することを必須とします。以下のとおりメールで申し込みを行ってください。

メール件名	研究生出願前相談
本文記載項目	1. 氏名 2. 連絡先メールアドレス 3. 連絡先電話番号、 4. 研究指導を希望する教員名 5. 研究を希望するテーマ 6. 研究歴 7. 質問事項（任意）
宛先	kyomu@s-sph. ac. jp
期限	2023年2月10日（金）17:00
備考	記載内容に不備がなければ、概ね一週間以内に各教員から研究指導が可能なテーマであるか否かを直接連絡します。必要に応じて面談を行う場合があります。

※ 期限までに出願前相談の申し込みを行わなかった場合は、出願することができませんので注意してください。

7.2 出願方法

- ・出願書類（「7.3 出願書類」参照）を、下記の出願期間内に郵送（簡易書留）もしくは直接持参により教務課へ提出してください。

【出願期間】2023年2月17日（金）～2月24日（金）必着

- ・直接持参の場合は、締切日の17:00まで受け付けます。（受付時間…火曜～土曜（祝日を除く）8:30～17:00）
- ・封筒表面には「研究生出願書類」と朱書きしてください。

7.3 出願書類

対象者	書類の種類		注意事項
全員	①	履歴書（様式A）	写真を貼付してください。
	②	研究生 入学願書（様式B）	記入欄が不足する場合は、別紙を添付してください。
	③	入学検定料納入済証明書（様式C）	「7.4 入学検定料」を参照してください。
	④	卒業（見込）証明書又は 修了（見込）証明書	最終出身学校のもの（原本）を提出してください。 日本語以外で表記されている場合は、「日本語訳」を添付してください。
	⑤	成績証明書	
出願資格（2） に該当する方	⑥	「職務経歴書」もしくは 「研究歴・研究内容の要旨」	A4縦、様式は任意です。
	⑦	過去に作成した論文や研究 報告書	
在職中の方	⑧	承諾書（様式D）	
提出書類の中で姓が 異なるものがある方	⑨	戸籍抄本もしくは 戸籍個人事項証明書（原本）	
外国籍の方	⑩	住民票の写し（原本）もしく は在留カードの両面コピー	マイナンバーの記載がないものを提出してください。

7.4 入学検定料

入学検定料（9,800円）を出願期間内に下記の銀行口座へ「電信扱い」で納入してください。

（ATM、インターネットバンキングでの納入可。）振込名義は受験者本人の氏名（入学願書に記載の氏名と同一）としてください。納入後、納入したことを証明する書面（例：払込証明書や利用明細書の写し、振込完了画面を印刷したもの 等）を様式Cに貼付し、出願時に提出してください。

金融機関名	三井住友銀行
支店名	静岡支店（店番：332）
預金種目	普通預金
口座番号	4070613
口座名義	公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学

8 選考方法

書類審査及び面接により選考します。面接は対面又はウェブにて、2022年2月25日（土）～3月6日（月）の間に実施します。実施日時については各教員から連絡します。

9 選考結果の通知

選考結果は、2023年3月10日（金）までに出願者全員にメールで通知します。なお、電話・メールなどによる問合せには応じません。

10 入学手続

入学手続については、結果通知後にお知らせします。なお、入学料及び研究料の納入時期は以下のとおりです。

入学料	2022年3月11日（土）～3月25日（土）
研究料	4月下旬（4月上旬にお知らせします。）

11 個人情報の取扱い

出願の際に提出された書類等に記載された個人情報は、以下の業務において利用します。

- ・ 研究生選考業務及び統計資料作成業務
- ・ 入学手続業務
- ・ 学籍管理等の教務関係業務及び入学料・研究料徴収に関する業務

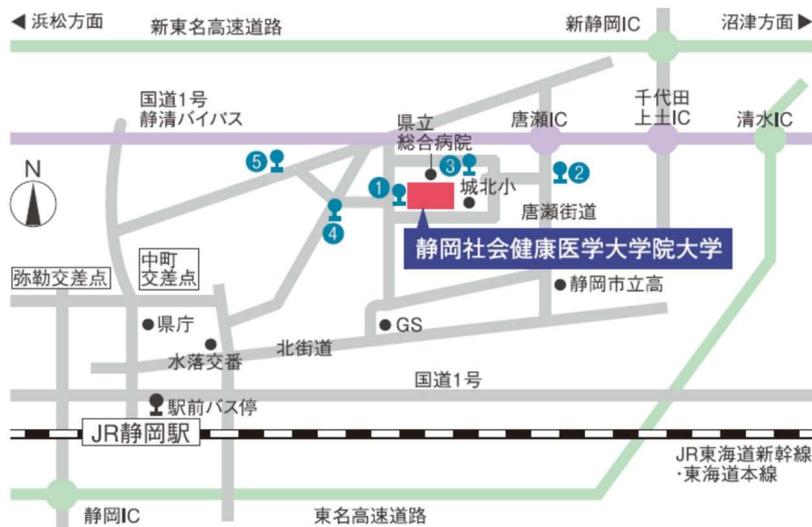
12 注意事項

- ・ 提出された書類及び納入された入学検定料、入学料、研究料は返還しません。
- ・ 研究生として不適当と認められた場合には、入学の許可を取り消すことがあります。

13 書類提出・問合せ先

担 当	静岡社会健康医学大学院大学 教務課
所 在 地	〒420-0881 静岡市葵区北安東4丁目27-2
電 話 番 号	054-295-5401
FAX 番 号	054-248-3520
メールアドレス	kyomu@s-sph.ac.jp

14 案内図



<公共交通機関を利用する場合>

JR 静岡駅北口「静岡駅前」から静鉄バス利用（いずれも乗車時間約 25 分）

● 5 番乗り場

上足洗線（75・76 番）①「北安東四丁目静岡社会健康医学大学院大学前」下車すぐ
唐瀬線（77 番）②「県立総合病院入口」下車 徒歩約 7 分
唐瀬線（78 番）③「県立総合病院」下車 徒歩約 5 分

● 10 番乗り場

県立病院高松線（70 番）③「県立総合病院」下車 徒歩約 5 分
県立病院高松線（90 番）②「県立総合病院入口」下車 徒歩約 7 分

● 16 番乗り場

大浜麻機線（73・74 番）④「北安東三丁目」下車 徒歩約 5 分
中原池ヶ谷線（71 番）⑤「平ヶ谷」下車 徒歩約 11 分

<車を利用する場合>

国道 1 号静清バイパス「唐瀬 IC」から約 3 分

新東名高速道路「新静岡 IC」から約 15 分

東名高速道路「清水 IC」から約 20 分／「静岡 IC」から約 25 分

2023年度 研究指導分野一覧（研究生対象）

領域	教員名	専門分野	研究指導分野
疫学	小島原 典子 教授	疫学・公衆衛生学・産業医学	ワクチンによる呼吸器感染症の予防効果、産業保健介入が働きがいに与える影響、電磁界など物理因子の健康影響などに関するシステムティックレビューや疫学研究
	佐藤 康仁 准教授	疫学・臨床疫学	生活環境における疫学研究・リスク評価、診療ガイドラインの作成・評価・活用に関する臨床疫学研究
	森 寛子 准教授	疫学・質的研究	地域で暮らす人々の健康や幸福を主テーマとした質的/量的研究法による研究、在宅介護者のQOL、少数集団の体験・価値観の探索や高齢者施設に関する研究
	佐々木 八十子 講師	公衆衛生・疫学	医療や介護等の質の向上のための持続的かつ効果的なコミュニケーション・組織の在り方に関する研究
医療統計学	山本 精一郎 教授	疫学・統計学・ヘルスコミュニケーション	健康に関する行動変容を促すための行動科学、行動経済学的な研究
	中谷 英仁 准教授	医療統計学	医薬に関する介入、観察研究の統計学的手法及び解析、疾患の発症・悪化及び死亡に関する予測因子探索及び予測モデル構築に関する研究
	佐藤 洋子 講師	疫学・統計学	歯科疫学、観察研究における統計学的手法及び解析
ヘルスコミュニケーション学 行動医学・心理学	天笠 崇 准教授	精神保健学・産業精神医学	労働ストレス要因と精神疾患、職場のメンタルヘルス対策、社会生活スキルトレーニングを初めとした心理社会的支援による精神健康の改善、ICFに基づいた生活機能の評価とその改善に関する研究
	溝田 友里 准教授	健康社会学・健康教育学・行動科学	ナッジやソーシャルマーケティング等の行動科学と、それらを活用した行動変容及び社会実装研究、メディア等を活用した普及啓発、ヘルスコミュニケーション・リスクコミュニケーションに関する研究
	藤本 修平 准教授	健康情報学	リハ職種の診療ガイドライン活用・Evidence-based practiceに関する研究（大規模データ分析含む）、ヘルスコミュニケーション（主にShared decision making）、ヘルスケアビジネス領域のマーケティングリサーチ・ロジックモデルの作成及び評価
健康管理・政策学	栗山 長門 教授	疫学・予防医学	長寿・認知症・生活習慣病・骨粗鬆症などを中心とした予防医学に関する研究、健康リスクと関連要因の研究、コホート調査に関する研究
	山崎 浩司 教授	死生学・社会学・質的研究	看取りやグリーフに対する健康増進的支援、臨床死生学、コミュニティケアに関する（主に質的）研究
	八田 太一 講師	混合研究法・生命倫理学	健康科学領域において量的アプローチと質的アプローチの両方をもちいる混合型研究
ゲノム医学	田原 康玄 教授	疫学・遺伝医学	生活習慣病・循環器疾患・フレイル・認知症のリスク因子の解明と予防・介入方法に関する疫学研究、ゲノム研究
	木下 和生 教授	免疫学・ゲノム医学	抗体遺伝子やがん関連遺伝子の変化を惹起する酵素AIDの遺伝子多型と、アレルギー免疫疾患および悪性腫瘍の発症頻度との関連を調査する研究